

◎ ACG プレスリリース  
— 展覧会開催のご案内 —

## アニアス・ワイルダー 「Until the End of Time」

Aeneas Wilder: *Until the End of Time*



《Untitled # 141》2008 | 松 | 500 x 500 x 500 cm  
個展「Collider」2008、アートコートギャラリー photo: Tomas Svab

アートコートギャラリーはこの度、アニアス・ワイルダーによる個展「Until the End of Time」を開催いたします。

アニアス・ワイルダーは1967年、スコットランド、エディンバラに生まれ、1990年代後半より制作・発表活動を行なっています。重力、時間、空間についての独自の考察から生み出されるワイルダーの彫刻的インスタレーションは世界各地で評価され、国際的なキャリアを重ねてきました。

均一に製材された何千もの木片を、釘や接着剤を一切使用せず、木片の間に働く均衡と摩擦、重力の作用を見極めながら、時間をかけて緻密に積み上げてゆく——。その20年にわたる活動において、ワイルダーは一貫して一定の条件のもと最小限の要素のみを用いて生み出される創造的世界に潜む可能性を追求し、自身の表現を展開しています。

アートコートギャラリーでの10年ぶりの発表となる本展では、約10度の傾きで立ち上がる高さ7m近い円柱状の作品《Untitled #201》、そして、100年前のユーカリの古材を用いて展示空間を伸びやかに横切るインスタレーション《Untitled #202》を制作・展示し、過ぎゆく時間についての思考を呼び覚ます場の創出を試みます。

しばしば建築的構造を参照しながら4～5メートルを超える高さに及ぶワイルダーの作品には、そのモニュメンタルな外観とは裏腹に、常に非永続性が内在します。ほとんどの作品は一瞬にして崩壊しカオスへと帰す可能性を孕んでおり、時には作家自らの一蹴によって解体され、ドミノのように崩れ落ちます。ある一定の時空間にのみ現れるその儚い存在は、樹木が木片へと加工され、作家の手によって根気強く積み上げられ作品となるまでの気の遠くなるような時間の蓄積と鋭い対照を成すかのように、瞬時に消え去り得るのです。そして、積み上げられた木片の一つ一つは、それらが無数の可能性の中からある一つの形へと結実していく時間の一刻一刻を象徴しているかのようです。

“私たちは皆、一瞬一瞬のうちに存在していて、それぞれの瞬間が一層ずつ積み重なり、最後には、その人が生きた時間そのものとなる。その一生の長さ、量、内容には何の保証もなく、そして、それはどのようにも変化し得る。システム内における変動幅と可能性は無限へと開かれているのだ。” —— アニアス・ワイルダー

ワイルダーが作品制作に用いる手法は循環的であり、破壊の後には常に再生が訪れます。それは、一時的な現象を生み出すサイクルを通して、自らの限られた生の時間に内在する無限の可能性から、そのいくつかに形を与えようとする試みに他なりません。作家自身が「開かれたシステム」と呼ぶこうした表現手法はまた、生命の循環を映し出すものとしてとらえることもできるかもしれません。

本展におけるふたつの作品は、鑑賞者を、自らの限りある時間に宿る無限の可能性に対する気づきへと誘い、刻々と変化する存在に思いを馳せるよう、促すことでしよう。

### 【展覧会概要】

観覧先：アニアス・ワイルダー「Until the End of Time」 Aeneas Wilder: *Until the End of Time*

会期：2018年5月19日(土)～6月23日(土) \*日・月 休廊

会場：アートコートギャラリー 〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F

開廊時間：11:00～19:00 [土曜日17:00まで]

### ◆ 関連イベント 5月19日(土)

14:00～対談 [今村源 (美術家) × アニアス・ワイルダー、司会・進行: 清澤暁子 (アートエリアB1事業担当)]

16:00～17:00…レセプション

\*トークは要予約 (Email: info@artcourtgallery.com または TEL: 06-6354-5444) \*ともに参加費無料

主催：アートコートギャラリー (株式会社八木アートマネジメント) 協賛：三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [担当: 八木・浜田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

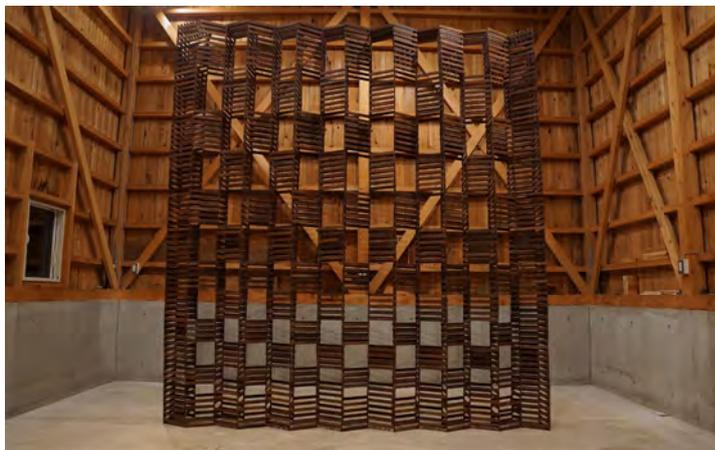
〒530-0042 大阪市北区天満橋 1-8-5 OAPアートコート1F TEL: 06-6354-5444 FAX: 06-6354-5449 E-mail: info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com

© ACG プレスリリース  
- 展覧会開催のご案内 -

## アネアス・ワイルダー 「Until the End of Time」

Aeneas Wilder: *Until the End of Time*

### 【出展予定作品・参考作品】



[左] 出展予定作品《Untitled #201》のためのCGプラン

[上] 作家アトリエ風景 | 出展予定作品《Untitled #202》の試作

「右」《Untitled #159》2012 | ユーカリ | 参考作品  
photo: Stephen McGarry 「RSA Annual Exhibition: Including the Artist's Studio」、Royal Scottish Academy、エディンバラ、スコットランド

### 【作家経歴】

- 1967 スコットランド、エディンバラ生まれ
- 1993 ダンディー大学ダンカン・オブ・ジョーダNSTーン・カレッジ・オブ・アート&デザイン彫刻科卒業
- 1994 エディンバラ大学院エディンバラ・カレッジ・オブ・アート彫刻科修了

#### | 主な個展 |

- 2016 Origin (Chateau de Seneffe、スヌッフ、ベルギー)
- 2013 Transformer (Galerie Frank Taal、ロッテルダム、オランダ)  
Aeneas Wilder (Villa Guastavillani、Alma Graduate School、ボローニャ大学、イタリア)
- 2012 Untitled # 162 (Mead Gallery、Warwick Arts Centre、コヴェントリー、UK)
- 2011 Aeneas Wilder (Yorkshire Sculpture Park、ウェークフィールド、UK)
- 2008 Collider (アートコートギャラリー、大阪)
- 2007 Is There Space Between Art and Design (De Fabriek、アイントホーフェン、オランダ)  
On The Edge Of Falling (Seeing Gallery、Exploratorium、サンフランシスコ、アメリカ)  
アネアス・ワイルダー展：超重力・無限再生ジャーニー (INAXギャラリー2、東京)
- 2006 個展 (Musée de Gajac、ヴィルヌーヴ=シュル=ロット、フランス)
- 2005 Empirical Association (シラパコーン大学ギャラリー、バンコク、タイ)  
Empirical Association (アートコートギャラリー、大阪)
- 2004 ニュープロジェクト (アートギャラリーC・スクエア、中京大学、名古屋)  
個展 (ギャラリー・ラ・ヴィ、盛岡) ['99, '01]  
アネアス・ワイルダー展 響きの森 (国際芸術センター青森、青森)
- 2003 アネアス・ワイルダー「転生-いつかみる風景」展 (京都芸術センター、京都)  
アネアス・ワイルダーの7日間、(岩手県立美術館、盛岡)
- 2002 The Ministry of Truth (Bemis Center for Contemporary Art、オマハ、アメリカ)

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [担当: 八木・浜田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋 1-8-5 OAPアートコート1F TEL: 06-6354-5444 FAX: 06-6354-5449 E-mail: info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com

- 2001 個展（ギャラリーそわか、京都）  
アニアス・ワイルダー展：超重力・無限再生のかたち（INAXギャラリー2、東京）  
2000 アニアス・ワイルダー展：立体ドミノ・破壊と再生のかたち（INAXギャラリー2、東京）

| 主なグループ展 |

- 2017 IJsselbiënnale（オルスト＝ウェイヘ、オランダ）  
SUMMA（Royal Scottish Academy、エディンバラ、スコットランド）  
2016 In Quarantaine（Stichting Kunsteiland、ロッテルダム、オランダ）  
2015 常設展（岩手県立美術館、盛岡）  
2014 アート@つちざわ（丹内山神社、花巻）〔'06, '09（会場は都度異なる）〕  
2013 Infecting The City（District Six Museum、ケープタウン、南アフリカ）  
Arte Sella（ボルゴ・ヴァルスガーナ、イタリア）  
2012 Pit（Abdij Mariënlof、ボルフロン、ベルギー）  
RSA Annual Exhibition: Including the Artist's Studio（Royal Scottish Academy、エディンバラ、スコットランド）  
2011 私たちがIMA(いま)在ること—7人の現代美術家たちによる（岩手県立美術館、盛岡）  
Reflection（City Art Centre、エディンバラ、スコットランド）  
Weareheartists - Portraits（Kunsthalle Winterthur、ヴィンタートゥール、スイス）  
2010 公会堂アートショウ+（プラス）（旧石井県令邸、盛岡）  
2009 Beaufort03（ミッデルケルケ、ベルギー）  
2007 RELAY（Japan Museum SieboldHuis、ライデン、オランダ）  
Follydock（ハイブラート、ロッテルダム、オランダ）〔'06〕  
Wrong Time, Wrong Place（TENT、ロッテルダム、オランダ）  
1st Tehran International Sculpture Symposium（テヘラン、イラン）  
2006 6人の彫刻家たち（ギャラリーおいし、福岡）  
2003 Explorations（National Botanic Garden of Wales、カーマーゼン、UK）  
2002 春のアーティスト・イン・レジデンス展（国際芸術センター青森、青森）  
Contributions to Society（Kunst en Complex、ロッテルダム、オランダ）  
2001 Vorriegend Heiter（Kunstlerhaus Boswil、ボスヴィル、スイス）  
Salong（ホーダランド芸術センター、ベルゲン、ノルウェー）  
1998 岩手の風土と英国文化の出会い—岩手アートフェスティバルUK98（萬鉄五郎記念美術館、花巻）  
1997 Scottish Sculpture Open 9（スコットランド各地を巡回、UK）  
1996 Outside Art（Queen Street Central Gardens、エディンバラ、スコットランド）  
1995 Transient Works（ピサ／カララ／フィレンツェ、イタリア）

| 近年の主な受賞 |

- 2011 The Pollock-Krasner Foundationより制作助成〔'01〕  
2007 Scottish Arts Councilより制作助成  
2006 Edinburgh Sculpture Workshop Creative Initiative Award受賞

| 主なレジデンス |

- 2006 Sculpture Space Residency（ユータカ、アメリカ）  
2005 Pollen Artists-in-Residence in Monflanquin（モンフランキン、フランス）  
2003 京都芸術センター（京都）  
2002 Kunst en Complex（ロッテルダム、オランダ）  
国際芸術センター青森（青森）

| 所蔵先・設置場所 |

- 2013 岩手県立美術館（盛岡）  
Association Arte Sella（ボルゴ・ヴァルスガーナ、イタリア）  
2010 Psychiatric Centre（デュフェル、ベルギー）  
2008 Verbeke Foundation（ステークネ、ベルギー）